

healthの語源とその同族語との意味的連鎖 - 意味的連鎖という視点からの語源研究の有効性 -

江藤裕之*1

【要旨】 意味的連鎖という視点からの語源研究の有効性を、healthを例に検証してみた。「健康」を意味するhealthは、「完全な」を意味する古英語halを語源とする。このhalからは、whole, hale, holy, heal, hallow等の語が派生するが、これらの語はすべてhealthと語源を同じくする同族語であり、意味的に関連する。その背景には、「完全なるもの」を崇高なものと讃える古代ゲルマン人の宗教的イメージがある。

このように、語の源へと意味的に遡ることで、その語の持つ文化史的背景から、その本質的な根本イメージに触れることができ、今日的意味の奥底を理解する糸口をつかむことができる。また、言葉を手がかりに、物証が残っていない古代人の頭の中、すなわち「人間により認識されたもの」を認識し、そのイメージの世界が言葉の中に残っていることを理解する手がかりを得ることができる。

【キーワード】 healthの語源、語の意味的連鎖、語の文化史的背景、語の根本イメージ、認識されたものの認識

古英語hal

その文化史的背景を探ってみたい。

Hal wes þu, folde, fira modor!
Beo þu growende on godes fæme,
Fodre gefylled, firum to nytte.

「大地よ、人間の母よ、完全なれ。神の懷に抱かれ、大きくなれ。食べ物で満ち溢れよ、人間のために」——これは7世紀頃には広く歌われていたアングロ・サクソン詩(古英語詩)「母なる大地への祈り(Prayer to Mother Earth)」の一節である。

この詩は、母なる大地を讃え、神の恩寵を請い願ひ、父なる神と母なる大地との結びつきにより大地が豊潤な実を結ぶことを願っている。天と地がひとつに結ばれ完全な状態になる。それをhalという語が示している。この古英語halは「完全な」という意味であるが、これは現代英語の「健康」を意味するhealthの語源である。本稿では、healthの語源とその同族語の意味的連鎖を見ることで、英語healthの持つ根本イメージと、

healthの語源と同族語

1. healthの語源的意味

英語語源辞書(Skeat, 1879-1882; Onions, 1966; Klein, 1971)によれば、現代英語のhealthは、中英語(1150-1500頃)ではhelthe、古英語(1150以前)ではhælohの語形で、字義はwholenessであった。古英語hælohはwholeを意味するhalと、名詞接尾辞-(h)-thからなる。そして、語幹をなすhalは現代英語のhealに連なる。

そこで、「癒す」という意味のhealの語源を探ると、古い語形は中英語helen、古英語hælanであり、古サクソン語(9-10cの低地ドイツ語)helian、古ノルド語(8-14cの北欧語)heila、オランダ語heelen、ドイツ語heilen、ゴート語ga-hailanに連なる。これら一連の語はto make wholeという意味であり、意味的にも古英語のhalに連なる。

*1 長野県看護大学
2001年12月17日受付

以上をまとめると、「完全な状態にする」という意味の動詞 heal の名詞形が health であり、「健康」とはとりもなおさず「完全な状態」というのが英語（同族のゲルマン系語も含めて）の基本イメージである。そこで、*Oxford English Dictionary*（以下 OED）における heal の定義が、“to make whole or sound in bodily condition; to free from disease or ailment, restore to health or soundness; to cure of a disease or wound[肉体的状態において完全,すなわち正常にすること。疾病等をなくして,健康状態を取り戻すこと。病気や怪我を治すこと]”とあるのも理解は容易である。身体を健康にする,すなわち癒すとは,体を whole の状態にし,また sound の状態にすることである。この whole から英語 health が出て, sound（元来は「強さ,素早さ」の意味）からドイツ語 gesund（健康な）が出る。

2. heal, health の同族語

以上の語源解説から heal, health は whole と意味的に強い関連のあることが判明した。では, whole の語源を見よう。この語は中英語では hale, hole, hol, hool 等の語形があり,古英語の語形は hal であった。意味は,中英語,古英語期を通じて whole, healthy という意味である。つまり, whole と heal は意味的に関連があるのみならず,共通の語源から出た cognate（同族語）である。さらに, hale（壮健な,傷のない）も古英語 hal に連なる。よって, hale と whole とは doublet（二重語）である。

さらに興味深い意味の広がりとしては, hail（歓呼して迎える）も古英語 hal から派生し,ゆえにこの語も whole と同族語であるということだ。これは,「万歳」を歓呼するときにも使われ,アメリカ大統領専用の行進曲 Hail to the chief.（首長万歳）は有名である。しかし,日本人に知られているのはむしろドイツ語の Heil Hitler! の方であろう。ドイツ語の Heil は「無事,平安,健康」等の意味であり,ここから Heil dem König!（国王に安寧を=国王万歳）のように使われる。また,この語の形容詞形 heil は「無傷の,健康な」という意味で,その動詞が heilen（治癒する）となり,これは英語の heal と連らなる。

「万歳」を示す語のもともとの意味が「完全であれ」というのは面白いが,他にもこのような掛け声を発する際に health が使われる。例えば,乾杯の時に To your health! というが,この「健康を祝っての乾杯」を英語で wassail という。この語は to be whole, to be healthy の意味で,語源は古ノルド語の ves (to be) と heill (healthy, whole, prosperous) の合成である。古英語では, wes þu hal (be thou healthy) と掛け声をかけた。

英語 hail やドイツ語 heil に似た語でドイツ語 heilig（神聖な）があるが,これは英語では holy である。この holy なる語も health や whole と同語源である。これは中英語 hali, holi, 古英語 halig という語形で,最終的には古英語 hal に連なる。

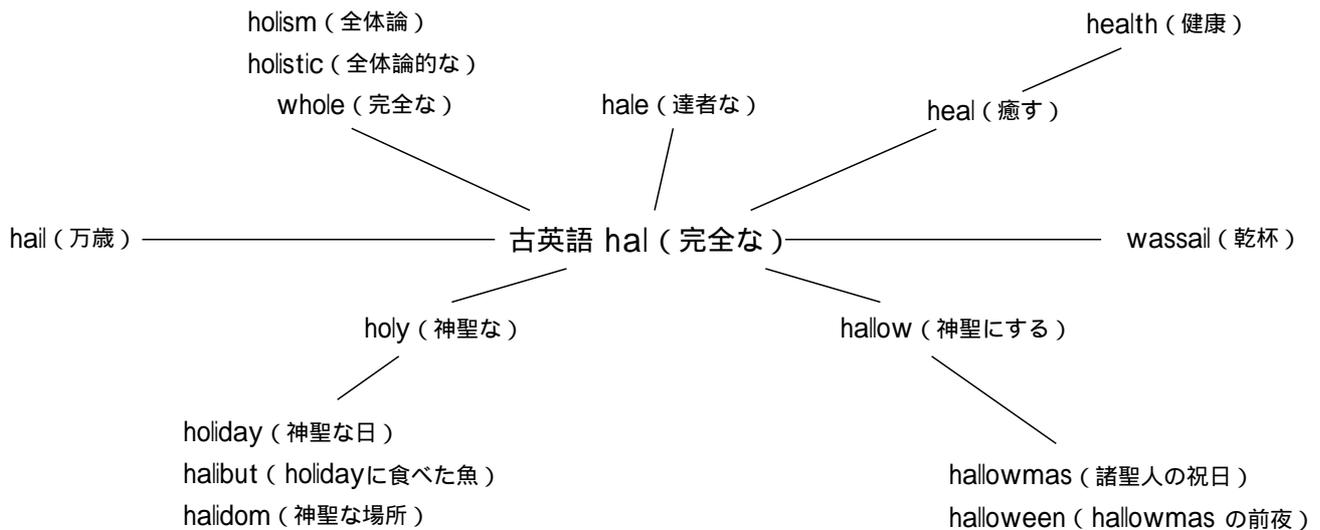
Pokorny（1959）や Watkins（2000）の印欧語根辞典によれば,以上の同族語はすべて *kailo-（*は文献上確認不可であるも音韻法則的に類推可能な語形を示す）という印欧語根に由来する。この語は whole, uninjured, of good omen という意味であるが,ここから現代英語の hale（達者な）, whole（完全な）, holistic（全体論的な）, holism（全体論）, hail（万歳）, wassail（乾杯）, health（健康）, heal（癒す）, holy（神聖な）, halibut（holiday に食べた魚）, halidom（神聖な場所）, holiday（神聖な日）, hallow（神聖にする）, hallowmas（諸聖人の祝日）, allhallowmas（諸聖人の祝日）, halloween（hallowmas の前夜）等の語が出る。人名では, Helga, Helge, Oleg, Olga という女性名がこの仲間に属し,すべて「全きもの」という意味である。

上に挙げた,英語の同族語について関連図を作ると,古英語 hal を中心として次ページ図 1 のような意味連鎖の銀河が作られる。

health と holy の関係についての神話的解釈

以上の語源解説や語根説明によって,「完全な」という根源的イメージから,意味が様々な方向へと広がる軌跡を見ることができたが,ここでひとつ疑問が残る。それは,「完全な」がなぜ「神聖な」に連なるのかということである。この点については,上述の語源辞書,

図1 . 古英語 halから意味的に広がっていく同族語(英語)の連鎖



OED, またドイツ語に関連して言えば Kluge の語源辞書 (1957, 1995), そして Grimm のドイツ語辞書 (1854 - 1960) にもその説明は見当たらない。そこで、言語学、語源学からさらに、民俗学、神話の世界へと広げて行こう。ここで、Karl Schneider (1912 - 1998) の学説を簡単に紹介してみたい (Schneider, 1956; 土家, 1992)。

印欧語族の祖宗教では、原初に存在していたのは神ではなく、「熱」と「寒」という二元論的「原初両極」であり、この両極は北欧系の神話では「火と氷」であった。この二極対立から世界の「原初物質」が生じたが、これがゲルマン人にとっては「氷」であった。

この「氷」が、その対極にある「熱」の力で溶け、最初の生命 (das Urwesen 「原初存在」) が生じた。北欧系の神話では、これを巨大な卵とみなし、その最初の生命体 (世界卵) である原初神 (der Urwesengott) が二つに割れて「父なる天」と「母なる大地」が生じたとされる。

原初神である卵を、古代ゲルマン人は「ハガル (Hagal)」と呼んだ。この語は英語 hail (雹, 霰) と同語源であるが、それは hail の持つ「卵形をなしている雪の塊、または氷」というイメージに由来する。Hagal は原初存在の氷から出た卵形のもので豊穡の印とされていた。卵を用いる古代ゲルマンの宗教儀式はその後キリスト教に入り、今も復活祭で使われている。

このような原初神、すなわち天地に分化する前の全体性を持った「ハガル (卵)」には、永遠の生命力があ

ると考えられ、神的な治癒力があると信じられた。前項であげた whole, holy, heal, hale はすべて、この原初神 (すなわち原初卵) の完全性に関連している。古英語 hal は「卵が割れて天地に分化する前の完全な状態」を表したものであり、そこから holy が出た。つまり、holy とは「神聖 (= 完全) なる卵」の状態のことを言うのである。

古英語 hal から派生した whole (完全な) と holy (神聖な) の語形的 (音韻論的) 関係は言語学的 (特に、史的比較言語学的) 手法で明らかになるが、意味的関連はゲルマン祖宗教、北欧神話、ゲルマン神話の解釈の助けを借りることで理解することができた。hail には今日「雹」という意味と、「万歳 (完全なれ)」という、意味的には一見何の関連性もない二つの異なる意味があるが、これもすでに見てきたように古代ゲルマン人が hagal と呼び讃えた「完全 (神聖) な存在」としての「世界卵 (大きな氷、雹)」から、その両者の関連性を結びつけることができる。さらに、この説明から、冒頭に引用した詩において、天地が完全になることを讃える時に、なぜ hal という語が使われているのかも納得できよう。

まとめ

health の根本義は「まったく欠けたところのない完全な状態」であった。その意味の背後には、神話の世界における古代ゲルマン人の「完全なるもの」への崇

敬がある。そこから派生した holy, hollow, hale, heal 等の語はすべて health との意味的連鎖を持つ同族語であり、「完全なるもの」のイメージがその根底にある。このように health という極めて日常的な語からも、その語にまつわる興味深い精神的・文化史的背景を垣間見ることができた。

科学的語源学は19世紀にドイツで成立した史的比較言語学に始まる。その「科学性」のため、史的比較言語学における語源研究の中心は科学的根拠に基づく音韻変化法則による、いわば「語形」中心のものであった。グリムの法則やヴェルナーの法則などの音韻法則により、それまで関係がないとされていた諸言語をくくる「印欧語族」という概念が成立したことは言語学における大きな進歩であったが、史的比較言語学は音声（語形）主義であり、意味、特に言語外的要素を用いたの語源研究、意味変遷研究は主流ではなかった。

1950年代になり、ドイツのミュンスターにて Jost Trier や Karl Schneider を核とした、新しい語源学への視点が導入された。それは意味変遷を重視するものであり、その方法論の背後には語の持つ基本イメージというものがあつた。その意味的な基本イメージから、今日意味的に関係のないような語が同根であったことを示す試みがなされた（渡部，1993）。それは、語の根本イメージから意味が連鎖的に広がる様子を言語外的要素（神話，文化史，民俗学）を駆使しながら説明し、その変遷を追体験しようというものである。

本論文では、意味的連鎖という視点からの語源研究の有効性という点について、health をキーワードとして検証してみた。意味の「銀河的連鎖」という点では、Mortimer J. Adler (1952) の Great Ideas の概念があるが、そこに語の根本イメージを入れるというのは、Trier, Schneider の独創である。

語の根本イメージを探り、意味的連鎖を追うことで有史以前の間人が持っていたイメージの世界を追体験することができた。このような「人間が認識したものを認識」することこそ文献学（Philologie）の本質である。そして、語の持つ共時的な意味を理解する際に、このような通時的アプローチを通して、その語の根源的な意味へと近づくことが可能となろう。

文 献

- Adler MJ (1952) *The Syntopicon, An Index to the Great Ideas*. Encyclopedia Britannica, Chicago.
- Grimm J, Grimm W (1854 - 1960) *Deutsches Wörterbuch*. S. Hirzel, Leipzig.
- Klein E (1971) *A Comprehensive Etymological Dictionary of the English Language*. Elsevier, Amsterdam.
- Kluge F (1967) *Etymologisches Wörterbuch der deutschen Sprache*. 20. Auflage. Bearbeitet von Walther Mitzka. Walter de Gruyter, Berlin.
- Kluge F (1995) *Etymologisches Wörterbuch der deutschen Sprache*. 23. Auflage. Bearbeitet von Elmar Seebold. Walter de Gruyter, Berlin.
- Onions CT (1966) *The Oxford Dictionary of English Etymology*. OUP, New York.
- OED (1989) *The Oxford English Dictionary*. 2nd ed. Prepared by J. A. Simpson and E. S. C. Weiner. Clarendon Press, Oxford.
- Pokorny J (1959) *Indogermanisches etymologisches Wörterbuch*. Francke, Bern.
- Schneider K (1956) *Die germanischen Runennamen: Versuch einer Gesamtdarstellung*. A. Hain, Meisenheim am Glan.
- Skeat WW (1879-1882) *An Etymological Dictionary of the English Language*. Clarendon Press, Oxford.
- 土家典生 (1992) 世界・渡部昇一他編，ことばコンセプト事典．960-973，第一法規，東京．
- 渡部昇一 (1993) 新々語源学の理念．ASTERISK, 2: 527-533.
- Watkins C (2000) *The American Heritage Dictionary of Indo-European Roots*. Houghton Mifflin Company, Boston.

【Summary】

Etymology of *health* and its Semantic Galaxy

Hiroyuki ETO

Nagano College of Nursing

The present essay deals with the etymology of *health* and its cognates and, as a result, tries to constellate the group of these cognate words in a semantic galaxy.

The word *health* originates in OE *hal* whose meaning is “ whole. ”Morphologically, *health* is composed of OE *hal* (whole) and a noun-suffix *-hald* (-th) meaning literally “ wholeness. ” From the OE word *hal*, the following modern English words are derived: *whole, hale, holy, heal, hallow*, etc. Modern High German words *heilen, Heil, heilig*, etc. are also of the same origin.

All these words have an common image of “ wholeness ”, which was worshipped by the people of the ancient Germanic tribes. In Germanic, as well as proto Indo-European, mythology, a great icy egg, called *Hagal*, was regarded as the original “ unity ” of the Father Heaven and the Mother Nature. In modern English, the word *hail* has two completely different meanings: “ pellets of frozen rain (ice)” and “ call out greeting or acclaim. ” Originally, however, these two meanings are of the same semantic root, i.e., *Hagal*, an icy egg representing “ completeness, wholeness, stability, etc ”.

Thus, tracing back to the ultimate origin of a word, we can grasp its basic image and its cultural and intellectual-historical background partly or totally vanished today. With this adventure in words, we can look into the world of ancient people and recognize what is produced by the human mind, i.e., what is recognized by them.

Keywords: etymology of *health*, semantic galaxy, cultural background of a word,
basic image of a word, recognition of what is recognized

江藤裕之 (えとう ひろゆき)
〒399-4117 駒ヶ根市赤穂1694 長野県看護大学
0265-81-5138 (Fax 兼)
Hiroyuki ETO
Nagano College of Nursing
1694 Akaho, Komagane, 399-4117 Japan
e-mail: heto@nagano-nurs.ac.jp